

日刊 勤労千葉

85. 11. 12

No. 2087

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二五三五（六・公衆）〇四七二（二二）七二〇七

10支部の100名まで 木更津地域集會大成功 組合員・家族・地域住民 百余名が結集、意志統一

勤労千葉の各支部が主催して開かれる「分割・民営化阻止、五千万署名貫徹」の各地域集會は、十一月スト体制構築―全員オルグ・学習運動―職場闘争強化―署名・ピラマキ等々とガッチリ結合されて、いま全支部で大きな盛り上りをつくりながらちとられつつある。その最先頭をきって、十一月九日、十七時半より君津教育会館において木更津支部主催の集會が開催され、組合員と家族を先頭に君津・木更津地区労加盟の各単産、社会党、市民など百名をこえる結集をもって圧倒的成功をかちとった。

職場生産点から断固 決起する―齊藤支部長が主催者あいさつ―

集會は、木田木更津支部副支部長の司会のもとに進められた。主催者を代表して立った齊藤支部長は「七・二六答申以降、当局はこれを錦の御旗とし、かさにかかった攻撃をかけてきている。われわれが選ぶ道は、職場生産点から断固闘いぬき、世論に訴えることだ。共に反撃に決起しよう」と全参加者に訴えた。

〈木更津支部通信員・発〉

五千万署名を強力におし進め、共に闘う」と決意を明らかにした。さらに国労木更津地区協の古原議長より「分割・民営化絶対阻止へ断固闘う」と力強い決意を受けた。

社会党木更津総支部長の海宝氏より連帯のあいさつを受け、檄電が披露された後、中野委員長の講演に入った。

攻撃の本質をあばき、家族・地域ぐるみの総決起を訴える

―中野委員長が講演―

中野委員長は、分割・民営化の本質を怒りをこめて明らかにし、①分割・民営化で「赤字解消」な

30万国鉄労働者は ストライキで 10万人首切りを 粉碎せよ

11.17集會をストライキ突入宣言の場とし、11月末ストライキへ進撃する

全国鉄労働者総決起集會

11月17日（日）正午
日比谷野外音楽堂（集会后 国鉄本社抗議デモ）
主催 国鉄千葉動力車労働組合



各地域集會の成功

かちとり11月ストへ！

13日・千葉地域集會	22日・勝浦地域集會
19日・銚子地域集會	24日・成田地域集會
21日・津田沼地域集會	25日・館山地域集會

どできない。結局、財界が更に食い物にするためのものだ。②敵の最大の狙いは、十万人の首切りをもつてする国鉄労働者の闘う組合をつぶすことだ。中曾根は防衛費一兆突破・靖国公式参拝に見られるように戦争のできる国家体制づくりをめざしている。③今や、唯一戦闘性を保持している国鉄労働運動がつぶされたら、教育臨調・地方行革が推進され総評が解体されてしまう。勤労千葉は、国鉄労働者の未来をかけ、十一月末ストを第一波とする闘いに決起する。そのことによって全国ストライキを実現し、勝利の道を切り拓く。共に闘おう。と、全参加者に訴え、満場の拍手で確認され、職場・家族・地域が一体となって闘っていく決意と体制がうちかためられ、大成功のうちに集會を終了した。

粉砕せよ！ 攻撃破壊組織を、強固な団結の家族員を